

環境マネジメントシステム

[企業情報 → CSR活動 → 環境マネジメントシステム](http://www.tdk.co.jp/csr/csr03300.htm) <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03300.htm>
[企業情報 → CSR活動 → 環境リスク管理](http://www.tdk.co.jp/csr/csr03400.htm) <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03400.htm>
[企業情報 → CSR活動 → 環境負荷の概要](http://www.tdk.co.jp/csr/csr03500.htm) <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03500.htm>

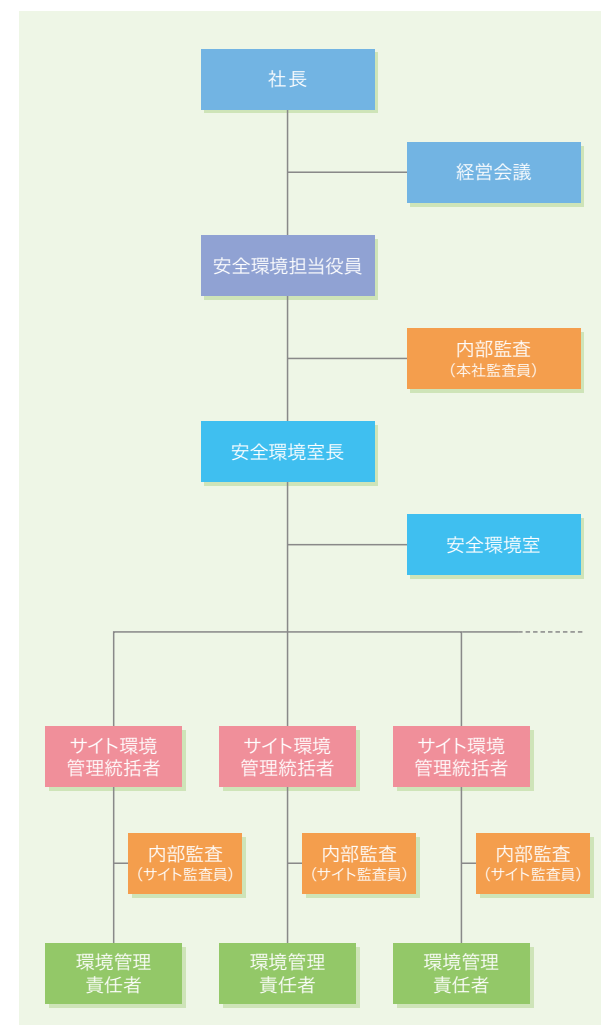
環境マネジメント体制

当社は社長を頂点とする全社統一の環境マネジメントシステム（EMS）に基づく推進体制を確立しています。

この全社体制の確立で、従来のサイト単位での環境保全活動だけでなく、多様化・複雑化・グローバル化する環境問題にも迅速かつ効果的な対応ができます。

また、サイト主体の環境マネジメント体制でカバーすることが難しい製品の環境配慮については、関連本社機能が全社組織を編成し、事業部門を統括しています。これにより、「買う」「創る」「売る」のビジネス・プロセスをマネジメントする体制を確立しています。

体制図



環境マネジメントシステムの運用

当社は、2005年度に日本国内全拠点で環境マネジメントシステム（EMS）の全社統一システムへ切り替え、体系的な運用と環境活動の方向性がより明確になりました。日本以外の全拠点につきましても、2007年度までにISO14001*の認証を取得し、中国拠点を中心に全社統一システムへの切り替えをすすめています。

グループ各拠点ではEMSを活用し、グループ全体の共通目標である「TDK環境活動2015」に基づいた施策を掲げ、目標達成に向け環境活動を推進しています。

また、共通要素の一元管理を目的とし、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）とのシステム統合もすすめており、柔軟で的確な運用を目指しています。

※ ISO14001：EMSに関する国際規格（IS）
※ ISO14001 認証取得事業所はWEBをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr05200.htm>

環境マネジメントの評価制度と表彰制度

当社は、環境マネジメントの評価制度をグローバルで展開し、環境活動のパフォーマンス向上および環境マネジメントシステムの改善を図っています。環境マネジメント評価は、環境意識の高揚を目的とし、毎年各拠点で推進する環境活動目標の立案と実績に対し活動項目ごとに実施しています。

また、評価で優れた成績を収めた拠点に対し表彰をする環境表彰制度を導入。これは、環境マネジメント評価の結果による表彰だけでなく、全社的に模範となる環境活動を推進した組織や個人に対しても表彰しています。2008年度に表彰された拠点と表彰内容は、下記のとおりです。

拠点名	表彰内容(主な施策)
千曲川テクノ工場	燃料転換によるCO ₂ 排出量の大幅削減と工程改善による排出物の大幅削減
SAE Magnetics (H.K.) Ltd.	クリーンルーム空調効率改善によるエネルギー負荷低減と有機溶剤使用量を25%以上削減
TDK Taiwan Corporation	焼成炉、空調エリアのエネルギー効率改善によるCO ₂ 削減と焼成治具改善により排出物を大幅削減

環境リスク管理

土壌汚染、VOCリスクの管理

当社では、土壌汚染およびVOC*に関する環境リスクの評価基準と管理手法を確立し、各サイトのリスク評価を定期的に行なっています。リスクの高い個所については、優先順位を明確にして、予防保全、修復等の対策を実施することで、効果的な環境リスク管理につなげています。

※ VOC (Volatile Organic Compounds)：揮発性有機化合物
※土壌修復実績はWEBをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr05300.htm>

VOC排出量の削減

当社では、「TDK環境活動2015」の中でVOCの大気への放出量削減をテーマとして取り上げ、2000年度を基準として2010年度までに排出量を30%削減することを目標としています。主な施策は、有機溶剤の使用量削減、溶剤回収装置および溶剤燃焼装置の導入などです。

2008年度のVOC大気放出量は2000年度比33%削減となり、2010年までの中期計画目標値を前倒して達成しました。

PCBの適正処理に向けた保管・管理

当社では、電力用コンデンサ90台、蛍光灯安定器451台を、廃棄物処理法*に準拠して保管・管理をしています。PCB廃棄物処理が本格化するのを受け、適正処分に向け、処分登録をすべて完了しています。

※廃棄物の処理および清掃に関する法律

法規制の遵守

当社では、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを未然に防止するため、法規制遵守はもとより、項目によっては法規制値よりもさらに厳しい自主基準を設け、環境負荷の低減と未然防止に努めてきましたが、残念ながら2008年度は、法規制値の基準値超過が2件あり、行政報告のうえ速やかに対応しています。

環境負荷の概要

環境影響評価と統合指標の検討

当社では、事業活動が環境に与える影響を定量化する環境影響評価を行っています。

この評価結果は、環境活動の活動項目および目標の設定に活用していますが、これをさらに効果的なものにするため、環境負荷をCO₂換算で統合した統合指標の検討をすすめています。



※データの集計範囲
PRTR対象物質、用水、排水、SO_x、NO_x、ばいじん：日本
その他：グローバル